

生活科学習指導案

北広島町立川迫小学校

指導者 辰田 理紗

1 日 時 平成26年11月21日(金) 第5校時 13:40~14:25

2 学 年 第1学年 男子2名 女子3名 計5名

3 単元名 あきとともにだち〜おたのしみかいをひらこう〜

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領生活の目標(2)(4)、内容(5)(6)(8)に関わって設定したものである。地域に出かけて、秋をさがし、見つけた木の実や葉などいろいろなものを作ったり、遊んだりしながら、地域の自然のよさや季節の変化に気付くことができる単元である。また、子供たちが、季節や動植物の変化に気付き友達と交流する中で、友達の気付きを知り、自分の気付きをさらに深めることができると考える。これまでに、春、夏と学校の周りを観察することで、いろいろな虫や草花を見付け、名前を知らない小さな生き物についても、興味を持って観察を続けてきている。春・夏・秋とそれぞれの季節で見られた動植物を比べながら、変化を感じ取ることができると考える。

(2) 児童観

本学級の児童は、身の回りの生き物や自然観察に興味を持っている。見つけた生き物や花の名前がわからないときには、積極的に図鑑で調べる子供もいる。4月から、学校の周りや地域を探検することで、小さな花が咲いていることや、いろいろな生き物がいることもしっかりと感じ取ることができるようになってきている。

一方で、「どんぐりや銀杏の葉が落ちている。」などの事象に気付いていても、見つけたもので楽しく遊んでいる子供は少ない。身の回りの自然を当たり前のように感じ、地域の自然の素晴らしさを意識することなく、過ごしてしまっている子もいる。

また、季節の移り変わりについては、神楽や秋祭りといった地域の行事から「秋になった。」と感じたりしているが、「この虫がいるから、秋だ。」「この花が咲いていたから、秋になった。」と見つけた事象と季節とが結びついていない子もいる。

(3) 指導観

指導に当たっては、身の回りの自然の中へ出かけて見つけたもので、楽しんで遊ぶことによって、秋の自然の楽しさを感じることができるようにならさしたい。その楽しさを自分だけでなく、お楽しみ会を開いて招待した人に楽しんでもらうことによって、さらに喜びや楽しさを深く感じることができるようにしていく。また、春に見つけたものの写真を合わせて見せることで、春に見つけたものと秋に見つけたものとを比較する。そうすることによって、季節の変化や違いにも気付き、友達とも交流することでさらに気付きを深めることができるようにしたい。

さらに、保育所の年長さんを招待してお楽しみ会を開くことで、自分たちだけで楽しむだけでなく、身近な人と交流することの楽しさや相手に喜んでもらううれしさを味わわせていきたい。

5 単元の目標

- 身の回りの自然や暮らしの中で秋を見付けることに興味を持ち、いろいろなものを作ったり、遊んだりすることができる。
- 秋の植物や生きものの様子を知り、自然物や身の回りの物の特徴を生かし、工夫して遊びに使うものや作品を作ることができる。
- 身近な自然や暮らしの様子から、季節の変化や秋が実りの季節であること、身近な人と交流する楽しさに気付くことができる。

6 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
・秋を探したり、調べたりする活動の中で、見付けてきたものを使って遊ぶものを作ったり、友達と楽しく遊んだりしようとしている。	・素材の特徴を生かして作品を作り、遊びを楽しくするために遊び方を工夫している。 ・「おたのしみかい」に招待する人たちのことを考えて計画を立て、実行している。	・身近な自然や暮らしの中で、秋を見付け、春との違いや変化に気づくとともに、秋が実りの季節であること、身近な人と交流する楽しさに気づいている。

7 単元指導計画と評価計画（全16時間）本時 7/16

次	時	学習内容	評価			
			関	思	気	評価規準【評価方法】
1 秋見付けをしよう	1	○夏までに見付けたものの写真やカードを見て振り返り、これからの活動に見通しを持つ。	○			秋を見付ける活動に興味を持って取り組もうとしている。 【行動・発言】
	2 3	○校庭や学校の周りで秋を見付ける。 ○見付けたものを「はっけんカード」にかく。			○	見付けた虫や草花の様子を絵や文に書き、特徴に気付いている。 【発言・記述】
2 地域の秋を見付けよう	4 5	○河原や神社などに行く計画を立て、探検する。			○	秋の作物の収穫や河原や神社などで生き物を探し、季節の変化に気付いている。【行動・発言】
	6	○見付けたものの名前や特徴を観察したり、図鑑で調べたりする。			○	木の実や葉などの特徴や変化に気付いている。【行動・発言】

3 おたのしみかいをひらこう	7 【本時】	○お楽しみ会の計画を立てる。		○	お楽しみ会に招待する保育所の年長さんのことを考えて計画を立てようとしている。【行動・発言】
	8 9 10	○秋の宝物を使って、遊ぶためのものなど、いろいろなものをつくる。	○	○	すすんで作品をつくらうとしている。【行動・発言】 見つけた素材の特徴を生かして、工夫して作品をつくっている。【行動・発言】
	11	○作ったもので友達と一緒に遊んだり、遊び方を工夫して楽しんだりする。		○	より楽しく遊ぶことができるように、遊び方を工夫している。【行動・発言】
	12 13	○これまでに作ったものを集めて、コーナーづくりをする。 ○つくったものやその遊び方についての説明を考える。		○	自分なりに工夫したり、友達と力を合わせたりしながら作っている。【行動・発言】
	14 15	○お楽しみ会を開き、みんなと一緒に楽しむ。		○	作った作品をわかりやすく説明している。【行動・発言】
	16	○楽しかったことやがんばったことをふり返る。		○	楽しかったことやがんばったことを絵や文で表現している。【記述・発言】

8 本時の展開

(1) 本時の目標

○招待する人のことを考えて、お楽しみ会の計画を立てることができる。

(2) 本時の評価規準

○お楽しみ会に招待する保育所の年長さんのことを考えて、計画を立てようとしている。

(3) 準備物

秋の素材（木の実・葉など）・折り紙・リボン・画用紙・箱など・遊ぶものなどの設計図

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (◇) 個に応じた指導の手立て (◆)	評価規準 【評価方法】
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">ねんちょうさんにたのしんでもらえるようなおたのしみかいの大きくせんをたてよう。</div> <p>2 お楽しみ会の計画を立てるために話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームコーナーやお店やさんの設置, かざりつけなどお楽しみ会の内容について ・準備物 ・お楽しみ会の名前 <p>3 考えた中から, 実際にやるものについて話し合う。</p> <p>4 本時の振り返りをする。</p>	<p>◇保育所の年長さんに楽しんでもらえるという視点を明確にするために計画を分かりやすく伝える。</p> <p>◇見付けてきた木の実や葉などを使って楽しむことをおさえる。</p> <p>◇どうしても, 保育所の年長さんにも楽しんでもらうことができるかを考えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとあて ・やじろべえ ・こま ・リースでかざりつけ ・葉っぱのお面 <p>◆考えがなかなか出ないときには, いろいろなものの作り方を見せて, 考えるヒントにする。</p> <p>◇みんなで協力してできそうなものか, 招待する人のことを考えてやったらいいものかどうかを判断できるように, 助言する。</p> <p>◇招待した人に楽しんでもらえるように, 会の準備をしていくことを伝え, 次時への意欲を持たせる。</p>	<p>招待する人のことを考えて, 計画を立てようとしている。</p> <p>【行動・発言】</p>

9 板書計画

11 / 21

④ねんちょうさんにたのしんでもらえるようなおたのしみかいの大きくせんをたてよう。

おたのしみかいのなまえ

- ・あきのわくわくフェスティバル
- ・あきのたからものランド
- ・ねんちょうさんとあきをたのしもうまつり

ゲーム	かざり・プレゼント
つくってあそぼう	そのた

じゅんぴするもの

せつけいず